

第170回定例研究会

9月15日(木)

於:国労会館およびZoom

## 郵便局の労働実態

報告:鈴木 尚朋 氏(郵政ユニオン)

河合 利夫 氏(ローカルユニオン静岡)

### 1. 自己紹介

#### ○(郵政ユニオン)鈴木尚朋氏

郵便局に正社員として入社。(1986年)  
集配業務を担当。

元郵政ユニオン東海地本委員長。

#### ○(ローカルユニオン静岡)河合利夫氏

元篠原鉄工労組委員長

静岡県評労働相談室長兼

ローカルユニオン静岡委員長

### 2. 郵便局の労働実態

#### ○(郵政ユニオン)

・日本郵便は「土曜休配・送達日数の繰下げ」  
制度改正で配達日数が増え、ゆうちょ銀行は手  
数料値上げとIT化による人員削減、利用者と  
くに高齢者にサービス低下を強いている。

・集配職場以外郵便内務も欠員補充なし要員不  
足が常態化している。さらに超勤削減も強ま  
り、ストレスからパワハラが増加している。

・今春、強制配転された職歴ウン十年のAさ  
ん。新しい郵便配達先は町名が旧名で表されて  
いて、番地も家の並び順でない旧番?が混在。  
1区まるまる全ての家を覚えきれないと、配達  
や区分ができないような区。これほどややこし  
い所は初めて。土曜休配で郵便や業務の流れが  
大きく変わり、2か月目くらいに配達にやっと  
慣れてきたが、区分や道順組立は手伝ってもら  
っていた。いつまでも一人前になれない歯痒さ  
から、超勤になってでも自分で区分や道順組立  
をしたいと管理者に訴えた。

#### ○(ローカルユニオン静岡)

短時間勤務者のN氏から相談があった。

・親指の怪我をして痛みがひどく1年以上痛み  
が続いた。会社に対して、労災の申請をしてく  
れと何度も頼んだが放置され、労災扱いにして  
もらえなかった。

・入社直後「5時間の労働時間を8時間にして  
頂きたい」と会社に訴え、「8時間に延長します  
との口頭での約束を部長と交わっていた。」しか  
し、その後放置され、現在も5時間の労働時間  
のままになっている。

### 3. ユニオン(労働組合)の活動

#### ○(郵政ユニオン)

・均等待遇実現については、労契法20条裁判  
最高裁判決で勝ちとった休暇・手当を実現する  
とりくみが、職場での宣伝ビラ配布を背景に本  
社交渉で続いている。

・有給の病気休暇は実現できた。非正規社員の  
無期転換が勤続3年となったが、3年目の人事  
評価結果で雇止めにされたり、3年未満の非正  
規社員には病気休暇がなかったり、まだまだ不  
十分な点が多い。

・夏季・冬季休暇の見直しなど継続課題もあ  
る。

・郵便局の時給は「地方最賃+20円+地域加  
算額=基本給」に「業務スキルによる加算給」  
で決る。最賃引上げのとりくみは重要で23春  
闘の大きな課題である。

#### ○(ローカルユニオン静岡)

・2021年6月から数回団体交渉を行う。N氏は  
会社に依頼するだけで自らは、労働災害の申請  
手続きをしていない。しかし郵便局が、N氏が  
怪我をした時点で労災の手続きをしていれば、  
労災扱いになっていたはずである。

・団体交渉では、労働に対する評価が労働時間  
を延長する評価点に達していれば、延長すると  
言われた。

### 4. 今後の展望

#### ○(郵政ユニオン)

・土曜休配・翌配体制の見直しによって深夜勤  
務がなくなり、回数が減り大幅な減収になって  
いる。手当の引上げを求める。

・スキル評価の透明性を求める。スキルを上げ  
させる闘いが日常的に必要。

#### ○(ローカルユニオン静岡)

・Nさんは労災申請や労働時間の延長そして職  
場の改善等の訴え方が一方的で、相手に理解さ  
れない話し方があった。合意が難しく団交が止  
まってしまっている。ローカルユニオン静岡は  
職場外の組合で、職場内の組合員が1人では力  
不足を感じる。

\*連絡先: 〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号(静岡県評内)

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール [roudouadv@wave.wbs.ne.jp](mailto:roudouadv@wave.wbs.ne.jp) ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>